

平成 28 年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

国	語
書	写
社	会(地理的分野)
社	会(歴史的分野)
社	会(公民的分野)
地	図
数	学
理	科
音	楽(一 般)
音	楽(器楽合奏)
美	術
保 健 体 育	
技 術 ・ 家 庭	(技術分野)
技 術 ・ 家 庭	(家庭分野)
英	語

教科用図書児湯採択地区協議会専門委員会

【採択の基準】

中学校学習指導要領に示されている各教科の目標を十分達成できるものであり、地域の実態や課題を踏まえた以下の基準にする。

ア 地域の実態や課題に応じた指導の充実につながるものであること。

イ 地域の特色や実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいものであること。

【調査研究の観点】

項目	観 点
1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実	1-1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。 【基準ア】 1-2) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。 【基準ア】 1-3) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。 【基準ア】
2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上	2 学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。 【基準イ】

研究報告書

国語

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 教材はじめに目標を設定し、「てびき」で学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組めるように単元の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 単元については、全学年7単元で構成されている。単元のはじめに「読むこと」の領域の教材を位置付け、他領域の教材がバランス良く配列されている。また、「読むこと」の領域の学習内容を「書くこと」の領域の教材につなげるなど、他領域との関連が図られている。基礎編及び資料編は、本編での学習の深化が図られるような工夫がある。</p>
11 学 図	<p>(1) 教材はじめに目標を設定し、「脚問」や「学びの窓」で学習の手順が示され、効率よく学習が進められるように単元の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 単元については、全学年5単元で構成されている。単元のはじめに「読むこと」の領域の主教材・選択教材を位置付け、他領域の教材が単元のテーマに応じて配列されている。また、「読むこと」の領域の学習を、「書くこと」の領域の学習につなぐコラムを設定し、他領域との関連を図るような工夫がある。</p>
15 三省堂	<p>(1) 教材はじめに目標を設定し、「学びの道しるべ」や「学習の流れ」を示し、課題解決の道筋にそって学習が進められるように単元の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 単元については、1・2年7単元、3年6単元で構成されている。単元のはじめに「読むこと」の領域の教材を位置付け、他領域の教材がバランス良く配列されている。「読むこと」の領域の教材の後に、「読み方を学ぼう」を設定し、他教材で生かせる工夫がされている。資料編は他の学習に活用できるような工夫がある。</p>
17 教 出	<p>(1) 教材はじめに目標を設定し、「みちしるべ」で学習の進め方や重点をまとめ、目標と学習の振り返りができるように単元の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 単元については、1・2年8単元、3年7単元で構成されている。単元はじめに「読むこと」の領域の教材を位置付け、他領域がバランス良く配置されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の教材では、身に付けたい学習内容を示し、活動の流れにそって学ぶことができるような工夫がある。</p>
38 光 村	<p>(1) 教材はじめに目標を設定し、「学習」や「学習の見通しをもとう」で学習の進め方が示されるとともに、学習の振り返りができるように単元の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 単元については、全学年7単元で構成されている。全単元はじめに「読むこと」の領域の教材を位置付け、他領域の教材をバランス良く配列し、領域ごとに学びの手順が統一されている。「書くこと」の領域の学習では、主教材の前に練習教材を設けて、身に付けさせたい力を習得させ、その後の学習に活用できるような工夫がある。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、「学びの扉」や「広がる言葉」・「広がる漢字」などの学習材が設けられており、本地区生徒の語彙力のさらなる向上を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うための工夫として、巻末の「基礎編」の文法の問題や「資料編」の「言葉を広げよう」、「学習用語一覧」を設けるなど、補足的な学習が行われるための工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、読解教材における多数の脚注語句や、語句・語彙についてのコラムが設けられており、本地区生徒の語彙力のさらなる向上を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うための工夫として、巻末の古典文法や「今に伝わる注意したい古語」の一覧、「月の異名」、「注意すべき書き順」の漢字一覧などを設けるなど、補足的な学習が行われるための工夫がなされている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、巻末「資料編」のなかに「二年生で学ぶ漢字字典」が設けられており、本地区生徒の語彙力のさらなる向上を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うための工夫として、巻末の「資料編」のなかに学習に効果的な知識を提示したり、「学習用語辞典」を設けたりするなど、補足的な学習が行われるための工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、身近な言葉の課題に気付けるように「言葉の小窓」や「文法の小窓」が設けられており、本地区生徒の語彙力のさらなる向上を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うための工夫として、巻末に新出漢字の練習問題を設けたり、理解や表現に役立つ言葉や学習に役立つ用語の索引を示したりするなど、補足的な学習が行われるための工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、読む教材の後に「漢字を確認しよう」や後半部分に文法事項のまとめが設けられており、本地区生徒の語彙力のさらなる向上を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うための工夫として、巻末の「小学六年生で学習した漢字」の練習や「学習のための用語一覧」の提示、説明的文章と文学的文章の学習用語を示すなど、補足的な学習が行われるための工夫がなされている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域では、「話し合い」「問題意識を持って聞く」「詩歌創作」「レポートや意見文を書く」「情報を発信する」などの学習活動が設定され、多様な言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「読むこと」の領域では、教材文の後にある「てびき」を通して、自分の考えをまとめる学習活動や、複数の文章を読み比べる学習活動が設定され、読みを深める言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域では、「活動を考える」という表現コラムを学習した後に「プレゼンテーション」や「物語や詩の作成」などの学習活動が設定され、読解と表現をつなぐ言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「読むこと」の領域では、教材文の後にある「学びの窓」を通して、読み取った内容をもとに自分の考えを述べたり、登場人物の心情を想像したりする学習活動が設定され、読みを深める言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域では、「パネルディスカッション」や「対話劇の体験」、「主張文」や「地域情報誌」の作成などの学習活動が設定され、興味をもって言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「読むこと」の領域では、教材文の後にある「学びの道しるべ」を通して、自分の考えの文章化や、本や詩の紹介、古典学習後には「超訳」に挑戦する学習活動が設定され、さまざまな言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域では、「グループ討論」「プレゼンテーション」「新聞の投書記事を書く」「四コマ漫画から意見文を書く」などの学習活動が設定され、様々な考え方に基づく言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「読むこと」の領域では、教材文の後にある「みちしるべ」を通して、読み取った内容を基に自分の考えをまとめたり、サイドストーリーを創作したりする学習活動が設定され、思考を深める言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の領域では、「プレゼンテーション」「パネルディスカッション」「職業ガイドや意見文を書く」「国語学習の報告書作成」などの学習活動が設定され、興味をもって言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「読むこと」の領域では、教材文の後にある「自分の考えをもとう」や「言葉を広げる」を通して、自分の感想や考えをまとめたり、一つの言葉からイメージを広げたりする学習活動が設定され、表現を高める言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫については、目次の後に、それぞれの領域ごとに学習材を一覧表にすることにより、1年間の学習の見通しをもたせるとともに、単元ごとに「てびき」のページを設け、学習目標や学習内容を明確にしている。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材については、「書くこと」の領域で、文種に応じて、生徒会活動や中学生に馴染みのある歌詞を題材にしながらかき方の手順を示すなどの工夫が見られる。「話すこと・聞くこと」の領域では、本県で発生した「口蹄疫被害」が題材として取り上げられている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫については、教材末に「学びの窓」を設定し、学習活動の視点や「つきたい力」を明確にするとともに、写真や挿し絵を多く取り入れ、生徒の興味・関心や想像力を高めることができるようにしている。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材については、「書くこと」の領域で、学校の行事や新聞記事を題材としながらか、学習の見通しをもたせる流れを明示し、書き方の手順を示すなどの工夫が見られる。「読むこと」の領域では、本県の「幸島のサル」が話材の一つとして取り上げられている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫については、単元ごとに「学びの道しるべ」を設け、学習目標や学習活動を明示することで、「つきたい力」を明確にしたり、「読み方を学ぼう」を設定し、文種ごとに読みのポイントを解説したりしている。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材については、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域で、学級の出来事やふるさとを題材としながらか、学習のポイントや視点を明記するなどの工夫が見られる。「読むこと」の領域では、本県出身の若山牧水の短歌が「短歌十首」として取り上げられている。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫については、各学年において、巻末に古典に関する和歌や古文を掲載したり、伝統芸能に関する説明や写真を掲載したり、時季ごとに「四季のたより」を設けたりするなど、数多くの古典に親しみやすくしている。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材については、「書くこと」の領域で、自然を題材に、写真を用いて言葉の世界を広げたり、芸術作品をもとに鑑賞文を書く手順を解説したりするなどの工夫が見られる。「読むこと」の領域では、本県出身の若山牧水の短歌が「近代短歌」の一首として取り上げられている。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫については、目次の後に、1年間を通して、各領域の教材ごとに「つけたい力」を明示したり、巻末には、「学習を広げる」をテーマに各単元をさらに発展・補充できるための資料を数多く掲載したりしている。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材については、「書くこと」の領域で、学校行事や環境問題を題材として、学習の見通しや書き方の手順を明示したり、文字の大きさを変えたりするなどの工夫が見られる。「読むこと」の領域では、本県出身の若山牧水の短歌が「短歌を味わう」の一首として取り上げられている。</p>

研究報告書

書 写

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 構成に関しては、「目標」と「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3つの活動が設定されており、生徒が目的意識をもって能率的に学習できるように工夫されている。</p> <p>(2) 配列に関しては「練習」で培った技能や「資料」でまとめた知識を応用し、「生活に広げよう」で実践でき系統的・発展的な学習ができるように工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 構成に関しては、「試し書き→練習→まとめ書き→硬筆→自己評価」の学習の流れが示され、生徒が主体的に学習をすすめられるように工夫されている。</p> <p>(2) 配列に関しては、学校内外の社会的活動にかかわる事例を提示し、学習したことを社会生活に生かせるように工夫されている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 構成に関しては、教材のはじめに「考えよう・話し合おう」というステップが設定され、生徒が主体的に学習に取り組み、知識及び技能の習得ができるように工夫されている。</p> <p>(2) 配列に関しては、「見通しをもつ→学習する→復習する→学習を生かして主体的に書く」という10の単元の流れで、3年間の学習を見通すことができるように工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 構成に関しては、「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう」の学習の流れが示され、習得した書く力を他の学習や日常生活に活用できるように工夫されている。</p> <p>(2) 配列に関しては、1年生、3年生で「選択課題」が設定されている。また、「補充教材」で個に応じた学習にも対応できるように工夫されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 構成に関しては、教材を見開きで構成し、「目標→導入→理解→確認→活用→定着」の学習の流れで、書き方のポイントや指示にそって学習が進められるように工夫されている。</p> <p>(2) 配列に関しては、「基礎編」「学習編」「資料編」の三つに分けられる。「基礎編」では小学校の学習内容が簡潔にまとめられ、円滑な接続が図られるように工夫されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、毛筆教材の側に「書くときのポイント」を示したり、「書写テストに挑戦」の資料を設けたりするなどの工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導を行うための工夫として、「学習に生かそう」の資料を掲載し、学習した内容を他の文字で確かめるなどの補充的な学習が行われるための工夫がなされている。
11 学 図	(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、学習後に要点を振り返ることができるようにしたり、学年末に「確かめよう」を設定し練習したりする工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導を行うための工夫として、毛筆の学習が硬筆の学習に生かされるよう配慮がしてあり、補充的な学習が行われるための工夫がなされている。
15 三省堂	(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、基本点画や筆使いを細かく示し、技能を高め定着させるための工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導を行うための工夫として、単元末に「学習のまとめ」が設けられ、要点を他の文字で練習できるなど、補充的な学習が行われるための工夫がなされている。
17 教 出	(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、筆脈が分かるように筆使いがクローズアップして示されており、技能を高めるための工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導を行うための工夫として、学習の後に「振り返り」を設け、課題が解決できたかどうか確認できるなど補充的な学習が行われるための工夫がなされている。
38 光 村	(1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、学習のポイントを記入させたり、「学習を振り返る」で自己評価ができるようにしたりする工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導を行うための工夫として、学習後に「練習」や「まとめ」が設定してあり、要点を他の文字等で練習するなど、補充的な学習が行われるための工夫がなされている。

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、国語科の「書くこと」の領域との連携を図り、手紙やはがきを書いたり、新聞を作成したりする学習活動が設定され、他教科等にもつながる言語活動の充実が図られるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動を豊かにするために、「書いて味わおう」で「竹取物語」「平家物語」「おくのほそ道」の文章や句を教材としてとりあげている。</p>
11 学 図	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、毛筆の学習を生かして硬筆で書く学習活動や、目的に応じていろいろな筆記具を活用し書写を生活に生かす学習活動を設定し、言語活動の充実が図られるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動を豊かにするために、「鳥啼歌」や「枕草子」の文章を教材としてとりあげると共に、発展的取扱で「蘭亭序」などの漢文を教材としてとりあげている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「生活に生かそう」の単元が設定されており、学習したことを生かして、「お礼の手紙」や「座右の銘」などを書く活動に取り組むなど、言語活動の充実が図られるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動を豊かにするために、「古今和歌集」や「竹取物語」の文章や若者向けの流行歌の歌詞などを教材としてとりあげている。</p>
17 教 出	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、書く目的・相手・方法・書体・筆記用具などを考えて学習活動や日常活動に生かす活動が多様に取り入れてあり、言語活動の充実が図られるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動を豊かにするために、歴史上の人物が書いた文字や詩を掲載すると共に、「竹取物語」「平家物語」「おくのほそ道」の文章や句を教材としてとりあげている。</p>
38 光 村	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「資料編」に、「情報を集めて、整理する」「情報を発信する」などを設け、ポスターやレポート作成など、他教科等にもつながる言語活動の充実が図られるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動を豊かにするために、「季節のしおり」のコラムを設け、著名人の和歌や俳句や短歌及び文学作品の文章を、書いて味わうことができる教材としてとりあげている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地域素材や身近な題材に関しては、単元の終わりに「生活に広げよう」を設定し、目標を書いたり、年賀状を書いたりするなど、日常生活に生かすことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 分かりやすさや学びやすさに関しては、手本や筆記具の持ち方を実物大で示したり、毛筆では「書くときのポイント」を提示したりする工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 地域素材や身近な題材に関しては、清掃活動のポスターや福祉体験のお礼の文章を題材にするなど、日常生活に生かすことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 分かりやすさや学びやすさに関しては、毛筆の練習で活用できる「かご書き」や「ほね書き」を提示したり、筆使いや書き順を分かりやすく示したりするなどの工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 地域素材や身近な題材に関しては、各学年の最後に「生活に生かそう」の単元を設け、行事の目標や本の紹介文を書いたりする活動を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 分かりやすさや学びやすさに関しては、見通しをもって活動できる手順と具体的な作品例を示したり、様々なキャラクターが学習の要点を示したりするなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 地域素材や身近な題材に関しては、単元の終わりに「学習を生かして書く」を設定し、手紙を書いたり、新聞を書いたりするなど、日常生活に生かすことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 分かりやすさや学びやすさに関しては、判読しやすい配色やレイアウト、文字などの工夫や、毛筆学習の手本や試し書きに補助線や中心線を引くという工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 地域素材や身近な題材に関しては、文字や文字文化への関心を高めるために写真を掲載したコラムを随所に設定したり書体の使い分けを示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 分かりやすさや学びやすさに関しては、学習指示にマークを付し学習の展開を示したり、分かりにくい筆使いを写真で示したりするなどの工夫が見られる。</p>

研究報告書

社 会

(地理的分野)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成は、写真やグラフなどの豊富な資料が掲載され、それらを用いて情報を読み取る視点を示したりするなど、生徒の発達段階に応じた工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、8単元で構成されており、地理の学習に欠かせない「スキルアップ」のコーナーや現地で暮らす人々を紹介したコラムを設けることで、より身近なものとして生徒が実感し、主体的に学習することができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成は、習得した知識を生かし考えを深めるという方針に基づき、資料を読み取る学習を中心に、生徒の発達段階に応じた工夫がみられる。</p> <p>(2) 単元の数は、8単元で構成されており、それぞれの単元で「地理の窓」や「現代日本の課題を考えよう」のコーナーを設けることで、より身近な問題として生徒が学習に取り組めるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 単元の構成は、大きな写真や資料を掲載することで、学習の内容を理解しやすくするなど、生徒の発達段階に応じた工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、8単元で構成されており、「学習課題」が明示されている他、「確認しよう」のコーナーを設けることで、1時間ごとの学習をしっかりと振り返ることができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 単元の構成は、写真や資料をもとに思考力・判断力を養い、1時間ごとに学習の確認と活用のコーナーを設けることで、表現力を伸ばし、生徒の発達段階に応じた工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、8単元で構成されており、現地の人の言葉を紹介した「声」のコーナーや「地理プラスα」のコーナーを設けることで、より現実的な課題として生徒が学習に取り組めるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的・基本的な知識の習得については、章の最後の「この章の学習を確認しよう」を設けることで、生徒自らが学習を振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導については、「地理にアクセス」のコーナーを設けることで、生徒の興味・関心に応じて自由な学びが展開できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 基礎的・基本的な知識の習得については、単元の最後の「学習のまとめと表現」を設けることで、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導については、資料との関連を示す番号が本文中に明記されており、必要に応じて生徒が学習を振り返りやすいような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 基礎的・基本的な知識の習得については、単元末に「学習をふりかえろう」や「技能をみがく」のコーナーを設けることで、学習の振り返りがしやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導については、世界の各地で暮らす人々のリアルな生活を紹介する「声」のコーナーを設け、生徒それぞれが興味・関心に応じて学習を深めていけるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 基礎的・基本的な知識の習得については、単元末の「学習のまとめ」のページや「スキルアップ」のコーナーを設けることで、学習の確認がしやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「地理プラスα」のコーナーを数多く設けることで、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深めていけるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 各見開きに「確認」マーク（机の印）を設け、その時間で学習した内容をキーワードを使って説明したり、短い文に要約したりするなどの具体的な表現方法を明示することで、思考力・判断力・表現力を育てる工夫が見られる。</p> <p>(2) 各見開きに「えんぴつマーク」を設け、資料の読み取りや話し合い、作業活動等を取り入れることで、生徒が習得した知識を生かしながら言語活動を深める工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 各見開きに「ふりかえる」のコーナーを設け、学習課題を振り返るとともに、生徒の思考力・判断力・表現力を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 章末や単元末に「学習のまとめと表現」のコーナーを設け、設定されたテーマについて自分の言葉で表現する活動を取り入れることで、生徒の言語活動を深める工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 各見開きに「説明しよう」のコーナーを設けることで、授業で習得した知識をもとに思考力・判断力・表現力を育む工夫が見られる。</p> <p>(2) 「学習をふりかえろう」のページを設け、地図や図表を用いて習得した知識を確認したり、説明したり、探究したりする活動を取り入れることで、生徒の言語活動を深める工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 見開きに「学習の確認と活用」のコーナーを設けることで、本時の学習課題を振り返るとともに、生徒が習得した知識を活用しながら、思考力・判断力・表現力を育てる工夫が見られる。</p> <p>(2) 「学習のまとめ」のページに、学習内容を活用して表現するコーナーを設け、読み取りやまとめなどの作業を通して、生徒の言語活動を充実させる工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 利便性については、各見開きに写真やグラフなどの資料が掲載され、番号づけがされることで、本文中のどの部分と対応するかも分かりやすく、生徒が使いやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習のまとめりごとに「深めよう」のページを設けることで、生徒にとって身近な題材に触れ、より興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 利便性については、用語や補足説明が必要な箇所には◆による解説を設け、本文中には資料と結びつきやすいように青色の番号をつけたりするなど、生徒が使いやすいよう工夫が見られる。</p> <p>(2) より身近に感じられる写真資料を用いたり、「現代日本の課題を考えよう」のページを設けることで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 利便性については、重要な語句の用語解説を設けたり、本文中には写真や資料と結びつきやすいように番号をつけたりと、生徒が使いやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「地域を探ろう」のページが設定され、生徒にとってより身近な題材に触れることで、興味・関心を高めるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 利便性については、本文の流れにそった形で資料が配置されており、生徒が視覚的に理解しやすく使いやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きの冒頭には、学習課題が明示されており、見開きの最後には「学習の確認と活用」が明記されていることにより、毎時間の学習が理解しやすいような工夫が見られる。</p>

研究報告書

社 会

(歴史的分野)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 見開き 1 単位時間で構成し、「導入→展開→まとめ」の流れで時代の特色の理解を確実にする単元の構造化が図られ、脚注や吹き出しを効果的に設けることで、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る工夫がなされている</p> <p>(2) 各章のはじめに、小学校の既習事項を時系列に整理し、中学校の学習内容への移行が円滑に行えるように工夫がなされ、各章の間には、「この見開きの時期」として、学習内容が年表中のどの時期か示すことで、発達の段階に応じた目標達成のための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定するとともに、問題の答えをまとめる際も、「キーワード」や「活用する資料」を明示するなど、単元の目標を達成するための工夫が見られる</p>
17 教 出	<p>(1) 見開き 1 単位時間で構成し、導入の資料やキャラクターによる学習課題の提示とともに、「世界遺産」「重文」「国宝」などのマークを資料に付けることで、学ぶ楽しさを実感しながら、理解の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、絵や写真を掲示することで生徒の興味・関心を高めるとともに、問題意識をもって学習するためにキャラクターの吹き出しによる問いかけを設けることで、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定するとともに、資料を見る視点を吹き出しに明示するなど、単元の目標を達成するための工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 見開き 1 単位時間で構成し、学習目標となる問いかけや、まとめのための問いかけ、作業指示を設けるとともに、小学校との関連を配慮した豊富な資料掲載により、歴史への興味・関心を喚起する工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、その時代を象徴する出来事や活躍した人物を掲示し、歴史を大観するとともに、世界史を背景に日本の歴史をとらえるため世界地図と資料を掲示することで、発達の段階に応じた目標が達成できるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定し、それに対応したまとめを設けるなど、生徒が課題解決的な学習に取り組みやすくし、単元の目標を達成するための工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 見開き 1 単位時間で構成し、「導入→学習課題→資料活用→確認」の流れで構成され、その中で解説や「確認しよう」「説明しよう」を効果的に設けることで、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、見開きの拡大資料を掲示することで時代のイメージを視覚的、具体的にとらえさせるとともに、資料を見る視点をキャラクターの吹き出しが明示することで、生徒が興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定するとともに、吹き出し等で資料を見る視点が明示されるなど、発達の段階に応じた目標を達成するための工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
116 日 文	<p>(1) 見開き1単位時間で構成し、学習課題の明示や時代の転換のようすをとらえる学習活動・導入に対応するまとめの設定など、基礎的・基本的な知識・概念を活用して時代の特色をとらえるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、資料を掲示し、これから学習する時代への興味・関心を高めるとともに、導入の充実と導入に対応するまとめや、生徒の思考の流れを重視した資料の提示など、生徒の発達の段階を考慮した上で、目標が達成されるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定し、キャラクターの吹き出し等で資料活用の視点を明示するなど、生徒が主体的に学び、単元の目標を達成するための工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 見開き1単位時間で構成し、学習課題の明示、「まとめにチャレンジ」の設定により、基礎的・基本的な知識や技能を活用して、時代の特色をとらえるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、その当時活躍した人物や特徴的なできごとに関する資料を拡大して提示することで、学習に対する興味・関心を高めるとともに、時代背景を的確につかみ、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定し、調査探究を行うための豊富な脚注の説明文や資料を設けることで、単元の目標を達成するための工夫が見られる。</p>
227 育 鵬 社	<p>(1) 見開き1単位時間で構成し、特色ある導入資料やキャラクターの学習課題の提示、特設コーナーの設置により、学ぶ楽しさを実感しながら、確かな理解を図るための工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、大きな時代の流れを掲示し、キャラクターとともに歴史的事象を見ていくことで、これからの学習に対する興味・関心を高め、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、学習課題を設定するとともに、キャラクターの吹き出しにより学習の視点を明示することで、目標を達成するための工夫が見られる。</p>
229 学 び 舎	<p>(1) 見開き1単位時間で構成し、見出しや資料は生徒の興味・関心を高めるものになっており、生徒に疑問をもたせるとともに、学ぶ楽しさを実感させながら理解を図るための工夫がなされている。</p> <p>(2) 各章のはじめに、世界の歴史を背景に日本の歴史をとらえられるよう、世界地図の中に世界のできごとが図や写真で表されているなど、生徒の発達の段階に応じた目標を達成するための工夫がなされている。</p> <p>(3) 時間ごとに、その時代を調べていくための観点として学習課題が提示されるとともに、生徒が興味・関心をもって取り組めるよう単元名もわかりやすく示され、生徒が主体的に取り組むための工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史にアクセス」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、「歴史スキル・アップ」を設けるなど、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「深めよう」を設けることで、生徒の興味・関心をもたせる文章や絵・写真から、多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史の窓」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「〇〇から歴史を探ろう」を設けることで、生徒に興味・関心をもたせる文章や絵・写真から、多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
35 清 水	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史のとびら」として見開きページで明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「もっと知りたい歴史」のページを設けることで、生徒の興味・関心をもたせる文章や絵写真から多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
46 帝 国	<p>(1) 重要なキーワードを「羅針盤マーク」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「歴史を探ろう」のページを設けることで、生徒の興味・関心を高める問いかけなどから多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史プラスα」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深めていけるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「とらえよう！時代の転換」を設けることで、生徒の興味・関心をひき、より深いテーマから多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史の言葉」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」を設けることで、生徒の興味・関心をひき、具体的な資料から多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>

発 行 者	概 評
227 育 鵬 社	<p>(1) 重要なキーワードを「歴史ビュー」「人物クローズアップ」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「歴史ズームイン」を設けることで、生徒の興味・関心をひき、資料や文章から多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>
229 学 び 舎	<p>(1) 重要なキーワードを付箋形式の「コラム欄」として随所に明示することで、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学びを示した「歴史を体験する」・「実験」などのページを設けることで、生徒の興味・関心をひき、多様な学びが展開できるように工夫されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 時間ごとに吹き出しを掲載し、視点を与えて資料を考える活動を取り入れることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「この時代の特色をとらえよう」で時代の特色をとらえる図を作成し自分なりの言葉でまとめ、記述する活動を取り入れることで生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 各時間に設定されている「読み解こう」で「なぜだろう」という問いを設けることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「〇〇〇の時代の特色を考えよう」において、時代の特色をとらえる新聞を作成したり話し合ったりする活動を取り入れることで生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 資料の傍らに問いを設定し歴史的事象の背景や事柄等を説明する活動を取り入れることで生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「〇〇〇の日本と世界」をまとめてみよう」において例示した語句や事柄を使って時代の特色を記述する活動を取り入れることで生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 各時間の「説明しよう」で歴史的事象の背景等を説明させる活動を取り入れることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある見開き「学習をふりかえろう」において、歴史的事象を説明したり、話し合ったりする活動を多く取り入れることで、生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 各時間にキーワードを設定し、それを使って学習課題の答えを考えさせることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「とらえよう！〇〇〇の特色」において、図の作成、話し合い活動、作文等の活動を取り入れることで、生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 吹き出しを使って、疑問を問いかけ、時代の特色をとらえる活動を取り入れることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「第〇章のまとめ」において、時代の特色を大まかにとらえるために、「ひとこと」作文や意見交換会を設定することで、生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>
227 育 鵬 社	<p>(1) 「課題学習」で「歴史新聞作成」、「ロールプレイ」、「まとめ」を取り入れることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「学習のまとめ」において、歴史的な事象の因果関係などを自分の言葉で記述する活動を取り入れることで、生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
229 学 び 舎	<p>(1) 各章末の「第〇章をふりかえる」で、時代の特色をまとめる活動を取り入れることで、生徒の思考力、判断力、表現力を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に設けてある「学習のまとめ」において、前の時代と比較しながら時代の特色を自分の言葉で記述する活動を取り入れることで、生徒の言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) キャラクターの問いかけや吹き出しによる解説のほか、各種マークや時代スケール等を設定することで、学習内容を視覚的に捉えて、生徒がより使いやすくなるような工夫が多く見られる。</p> <p>(2) 各章の「やってみよう」や「私たち歴史探検隊」、「歴史にアクセス」、章末の「深めよう」等を設定することによって、より効果的に学習が進められる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 導入でのキャラクターの問いかけ、吹き出しや各種マーク等を効果的に設定し、学習への道筋や視点を明確にすることで、生徒が使いやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各時間の冒頭に時代スケールが設定され、生徒を引きつけるようなタイトルを設定することで、生徒が興味・関心をもって授業に臨めるような工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 「人名さくいん」に小学校で学習した歴史人物イラストを設定したり、1ページ当たりの本文の文字数を少なくしたりするなど、生徒が使いやすく親しみやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章冒頭の歴史人物等による問いかけ、各時間の資料の読み取りの視点を明確にし、1ページ全てを地図資料にするなど、生徒の学習意欲が高まるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 本文中に関連事項・資料のページ等を設定したり、各種マークを効果的に活用したり、「人物さくいん」に凡例を示したりすることで、生徒が使いやすく、親しみやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各時間の導入でのキャラクターによる問いかけや各時代の「タイムトラベル」では、2ページ全部を資料にすることで、生徒の学習意欲が高まるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) キャラクターの問いかけや吹き出しによる解説、時代スケールを教科書の左側面に設定することで、学習内容の時代を視覚的に捉え、生徒が使いやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章に「先人に学ぶ」や巻末に「歴史学習の基礎資料」等をまとめることで生徒の考える幅を広げて、学習効果がより高まるような工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 各章の冒頭に見やすい写真資料が掲載されて、また、キャラクターが、予想、発見、疑問などを発することで、生徒が使いやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) コラムページ「人物クローズアップ」や「もっと知りたい」等を設定することで、生徒の興味・関心を高め、歴史上の人物に対する生徒の考える幅を広げて、効果的な学習が期待できるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
227 育 鵬 社	<p>(1) 各章の冒頭に特色ある資料が設定され、キャラクターの問いかけ、吹き出し等を使った解説を行うことで、生徒が使いやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) コラムコーナー「人物クローズアップ」、「歴史ズームイン」、「なでしこ日本史」等を提示することで歴史上の人物に対する生徒の考える幅を広げて、学習が深まるような工夫が見られる。</p>
229 学 び 舎	<p>(1) A4版の大きさの用紙を採用し、小単元を細分化することで学習の幅を広げて、より大きめの写真や各種の資料等を示すことで、生徒が見やすく、使いやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 章の始めに、時代スケールを大きく配置し、生徒が親しみやすいような写真、絵図等を掲載することで生徒の興味・関心を引き、学習に意欲的に取り組めるような工夫が見られる。</p>

研究報告書

社 会

(公民的分野)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成は、地理的分野や歴史的分野で学んだことを常に意識しながら学習できるように「分野関連マーク」を資料やグラフに示すなど、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の興味・関心を引き出すために「公民にチャレンジ」などを設けたり、今日的な課題（環境・エネルギー、防災・安全、人権、平和）の内容を取り上げたり、よりよい社会の形成に参画できる態度を養う工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成は、地理的分野や歴史的分野で学んだことをもとに、公民的分野の学習の最後に「未来への私の約束」を作成する活動を設け、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の興味・関心を引き出すために、コラム「公民の窓」や今日的な課題に迫る「読んで深く考えよう」を設け、よりよい社会の形成に参画できる態度を養う工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 単元の構成は、地理的分野や歴史的分野で学んだことをもとに、公民的分野の学習の最後に「卒業論文」を作成する活動を設け、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の興味・関心を引き出すために、「人物をクローズアップした扉」を設けたり、「もっと知りたい公民」などのページを特設したり、構成の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 単元の構成は、学習内容に応じて、地理的分野や歴史的分野の学習で学んだ語句を紹介する「地理・歴史をふりかえる」を示すなど、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 近い将来に役立たせるための「How to…」コーナーや未来の社会をつくるために参考になる「羅針盤マーク」を設け、よりよい社会の形成に参画できる態度を養う工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 単元の構成は、地理的分野や歴史的分野の学習の関連を巻頭で現代史年表や地図で表したり、ページ下に「連携コーナー」等で示したりして、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 社会参画・貢献の手がかりとなる「明日に向かって」を設け、今日的な課題（人権、環境・エネルギー・資源、平和、防災・減災、伝統と文化）について、生徒が主体的に考察し、よりよい社会の形成に参画できる態度を養う工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 単元の構成は、地理的分野や歴史的分野の資料等を配置したり、これまで学習をした成果として終章にレポートや卒業論文を作成させたり、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 重要なことがらを深く理解させるための「もっと知りたい」を設けたり、ディベートを实践できる活動を設けたり、構成の工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
227 育 鵬 社	<p>(1) 単元の構成は、「地理・歴史・公民の概念図」を巻頭に示し、これまでの学習の成果のもとに、公民的分野の学習が始められるようになるなど、目標を達成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材や各章の導入を工夫することにより、学習内容を他人事ではなく自分の事としてとらえ、社会の形成に参画する態度を養えるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 重要なキーワードを随所に太字で明示し、学習内容の確実な定着と概念を確認する「この章を確認しよう」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 写真や絵、図表を多数掲載することで、興味・関心を高めたり、「インタビューコラム」で理解を深めさせたり、個に応じた多様な学びが展開できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 知識の定着を図る「見てみよう」、資料の読み取りと考察のための「読み解こう」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 学んだことを活用できる「ふりかえる」を本文の学習ごとに設けたり、詳しくテーマを掘り下げて考える「読んで深く考えよう」を設けたりして、個に応じた多様な学びが展開できるような工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 理解を深めるための「調査」マークや本文に関連ある「知識」マークを設け、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 発展的な学習のための「もっと知りたい公民」や理解を深めるための「深める公民」を設け、個に応じた多様な学びができるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 知識を定着させるための「確認しよう」や学習内容をさらに深める「トライアル公民」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 興味・関心を高めるための「学習の前に」や社会の課題に参考になる「羅針盤マーク」を設けることで、個に応じた多様な学びができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習内容の定着のための「学習の確認と活用」や学びを深めていける「公民プラスα」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が取り組みやすい作業を交えた「情報スキルアップ」や「チャレンジ公民」などを設けることで、個に応じた多様な学びができるような工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 学習内容の定着のために「ここがポイント！」や単元末の「学習のまとめと発展」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の定着の工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習のヒントになる「ミニ知識」や深く理解させるための「もっと知りたい」コーナーを設け、個に応じた多様な学びができるような工夫が見られる。</p>
227 育 鵬 社	<p>(1) 各章の導入に「入り口」を設けたり、新聞記事を多数掲載したりすることで、社会を身近なものとしてとらえ、基礎的・基本的な知識や技能の定着の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の興味を引き出すための「理解を深めよう」や「考えよう」などのコーナーを設けて、個に応じた多様な学びができるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 価値判断の視点としての「効率と公正」のコーナーがあり、習得した知識や技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各見開きに、短時間で行える学習内容をまとめる「確認」、思考の段階に沿った「えんぴつ」マークを設けることで、生徒の言語活動の充実が図られる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習課題に対応した「ふりかえる」のコーナーがあり、生徒が習得した知識を活用しながら思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章に「言葉で伝え合おう」を設け、表現活動を中心としたテーマ学習を設けることで、生徒の言語活動の充実が図られる工夫が見られる。</p>
35 清 水	<p>(1) 「もっと知りたい公民」「深める公民」を設け、習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習内容への理解を深めることを目的とした場面に「調査」マークを設けることで、生徒の身近な社会的事象について考えさせ、言語活動の充実が図られる工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 学習した内容をさらに深める「トライアル公民」を設け、習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に「学習をふりかえろう」を設け、学習内容をふまえて自分の言葉で説明することで、言語活動の充実が図られる工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習への理解が深まる作業学習を提示した「アクティビティ」を設け、生徒が習得した知識を活用しながら、思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が自ら考え、判断し、自分の言葉で表現させる場面に「言語活動コーナー」を設け、言語活動の充実を図られる工夫が見られる。</p>
225 自 由 社	<p>(1) 資料を厳選し、文書による記述を多くし、章の最後に「学習のまとめと発展」を設け、それを通して生徒の思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に「学習のまとめと発展」において、最重要語句を整理させた上で、課題の中から1つを選んでまとめさせることで、言語活動の充実を図られる工夫が見られる。</p>
227 育 鵬 社	<p>(1) 見開きごとの「えんぴつ」マークに取り組むことにより、毎時間の学習の中で、生徒の思考力・判断力・表現力を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各章末に「学習のまとめに」を設けて、様々な課題に対して記述させることや巻末の「レポートを作成しよう」を設けることで、生徒の言語活動の充実を図られる工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 豊富な写真・図等が効果的に配置され、各見開きに学習課題を提示し、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 学習内容の確認や深化のための「確認」、「えんぴつ」マークなどを配置し、技能や活用する力を向上させるための手立てが数多くあり、生徒が学びやすい工夫が見られる。
17 教 出	(1) 各見開きに学習課題を提示したり、ページ横に「学習のパート」を表示したり、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 各章のはじめに分かりやすく「章のねらい」を示し、さらに表現活動や資料を読み深める活動を促すページを特設するなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。
35 清 水	(1) 学習内容の定着を図るために本文や補足説明の欄の色分けや解説に重点を置くなど、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 学習内容の理解と深化を目的とした「調査」マークや本文の補足説明の「補説」を充実するなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 資料と問いが豊富に設定されていたり、「連続コラム」で身近に感じさせたりするなど、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 重要事項を確認する「確認しよう」や学習内容を自分の言葉で説明する「説明しよう」コーナーなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。
116 日 文	(1) 豊富な脚注やインデックスを用いて学習の全体での位置づけが分かるようにするなど、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 学習内容の理解と活用する力を高めるための「言語活動」や「確認と活用」コーナーなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。
225 自 由 社	(1) 脚注での補足説明が充実しており、文章による説明に重点を置く文章理解で、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 学習内容の定着のための「学習のまとめ」や発展的な学習を意図した「もっと知りたい」コーナーなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。
227 育 鵬 社	(1) 豊富な写真・文書資料が配置され、興味・関心を引き出し、生徒が分かりやすい工夫が見られる。 (2) 学習内容の定着のための「えんぴつ」マークや新聞記事を多数扱い社会を身近なものとしてとらえさせるなど、生徒が学びやすい工夫が見られる。

研究報告書

地 図

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「世界地図」や「日本地図」が、地理的分野の学習内容にそって構成され、各地域やテーマごとに資料が掲載されていることにより、基本的な知識や概念を理解しやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 世界・日本とも各地域の学習展開に沿った基本資料やテーマ資料を掲載することで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成につなげられるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 世界・日本の諸地域を大観させる地図や資料を多く掲載することで、世界・日本の諸地域への興味・関心を深め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 拡大した地図や鳥瞰図・絵等が多く掲載されることで、生徒が立体的に地形を把握し、より興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「日本の自然環境（地形）（気候）（災害・環境問題）」等のページを設けることで、生徒が様々な角度から地理に関心をもち、多様な学びが展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 様々な基本資料やテーマ資料を数多く掲載することで、生徒の興味・関心に応じ、多様な学習が展開できるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 「日本の気候」や「日本の災害と防災」のページを設けることで、地形や気候などの観点から、今日的課題である防災への意識を高めるなど、多様な学びが展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 世界の諸地域と日本のつながりが見えやすく、生活や文化の違いを比較しやすいように、「日本との結びつき」の項目を設けるなどの工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 多くの吹き出しや写真、または拡大地図に見られる地元の産物の絵などを掲載することで、生徒の思考を促し、言語活動につなげられるような工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 多くの主題図や絵・図表を掲載し、「地図をみる目」のコーナーを設けることで、生徒の思考を促し、発表などの言語活動につなげられるような工夫が見られる。

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地図や写真、グラフなどが効果的に掲示され、関連資料が分かるような「ジャンプ」を活用することで、生徒が使いやすく情報を読み取りやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域ごとの基本資料やテーマ資料を豊富に掲載することで、身近な地域の様々な情報を多面的に取り入れ、興味・関心に応じて学べるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 各地の資料図や自然・産業・くらしを紹介するページでは、写真やイラスト、絵を豊富に活用することで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各地の資料図に歴史的分野や公民的分野でも活用できるようなイラストや絵を取り入れることで、生徒が多角的に利用できるような工夫が見られる。</p>

研究報告書

数 学

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、前学年の学習内容をまとめた巻末ページや「ちょっと確認」を設けるとともに、「例」、「たしかめ」、「問」という流れの構成により定着を図るなど、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、他教科の学習と関連する内容や社会における数学の応用場面を扱う「数学のまど」、巻末課題編「社会とつながる」を設けるとともに、「活用の問題」や「学び合い」で活用する場を設ける工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、前学年の学習内容に関する問いを設定するとともに、「思い出そう」や、例題の後に基本の問題や「練習」を設ける流れの構成により、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、実社会で活躍する人物が職業や社会生活と数学との関連を伝える「社会にリンク」や、数学の話題を扱う「Mathful」を設けるとともに、「いろいろな問題」や「挑戦しよう」で活用する場を設ける工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、「ふりかえり」を設け、領域ごとに既習事項を確かめたり、例題の後に適用問題や「確かめよう」を設定し、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、身の回りで数学を活用している場面を題材にした「クローズアップ」で課題に関連する職業を取り上げるとともに、「まとめの問題」、「深めよう」などで活用する場を設ける工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、「～を学習する前に」や「もどって確認」を設け、章の導入部分で既習事項を振り返るとともに、「たしかめ」や「問」、「基本のたしかめ」の流れで理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、数学に関する知識や数学の歴史的・文化的な話題を取り上げた「数学ミニ辞典」や「数学の広場」を設けるとともに、「伝えよう」や「みんなで数学」などで活用する場を設ける工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、別冊「MathNavi ブック」や「ふりかえり」を設け、既習事項を振り返るとともに、「問」の後に「基本のたしかめ」を配置することにより、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、数学の話題を扱う「数学展望台」や日常生活や社会と数学との関わりを考える「数学を通して考えよう」を設けるとともに、「自分のことばで伝えよう」などで活用する場を設ける工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
104 数 研	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、巻頭に「クイックチャージ」や「ふりかえり」を設け、既習事項の確認ができる工夫や、例題後に「問」や「確かめよう」で理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、数学が社会に果たす役割がわかるように、身のまわりにひそむ数学を探しながら学ぶ「数学探検」を設けるとともに、「考えよう」や「やってみよう」などで活用する場を設ける工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 基礎的な事項の定着を図るために、「～を学ぶ前に」や、ふりかえりの問を設け、各章の導入部分で既習事項を振り返るとともに、「問」や「基本の問題」の構成により、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 数学のよさを実感するために、日常生活に密着した話題を扱う「生活への利用」や、数学が発展してきた歴史などを扱う「数学のたんけん」を設けるとともに、「とりくんでみよう」や「生活への利用」で活用する場を設ける工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 補充的な学習として、本文中に「もっと練習」、節末に「基本の問題」、単元末に「章の問題A」「章の問題B」、巻末に「基礎をかためる補充の問題」を設け、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、本文中に「ちょっと確認」、巻末に「ふりかえり」を設け、「例」と「〇年のふりかえり」の説明箇所や、「問」と「補充の問題」の対応するページを示し、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>
4 大日本	<p>(1) 補充的な学習として、本文中に「プラス・ワン」、節末に「練習」、単元末に「〇章の問題」「いろいろな問題」を設け、習熟の状況を自ら把握し、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、本文中に「思い出そう」、巻末に「まとめの問題」を設け、節末の「練習」には対応する本文のページを示し、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 補充的な学習として、本文中に「やってみよう」、節末に「確かめよう」、単元末に「〇章のまとめの問題」を設け、問題ごとに「基本・応用」を示し、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、章のはじめに「ふりかえり」、節末に「計算力を高めよう」、巻末に「前学年の計算」と基礎・基本を示した「〇年の復習」を設け、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 補充的な学習として、節末に「基本のたしかめ」、単元末に「章の問題」「練習問題」を設け、本文中の「たしかめ」の後で更に「確かめの補充問題」で練習できるなど、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、章のはじめに「〇章を学習する前に」、章末に「学習のまとめ」、巻末に「たしかめの補充問題」「実力アップ問題」を設け、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 補充的な学習として、節末に「練習問題」、単元末に「〇章の基本のたしかめ」「〇章の章末問題」、巻末に「まとめの問題」を設け、問題ごとに学習内容とのつながりを示し、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、本文中に「ふりかえり」、巻末に「くり返し練習」、別冊に「学びをつなげよう」を設け、「問」と「くり返し練習」の対応するページを表示し、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>

発 行 者	概 評
104 数 研	<p>(1) 補充的な学習として、本文中に「例の反復」、節末に「確かめよう」、単元末に「基本問題」「○章の問題A」「○章の問題B」を設け、問題の難易度を把握しやすく示し、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、学習に入る前に「クイックチャージ」「ドリルでチャージ」、巻末に「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」を設け、本文と「ふりかえり」の対応するページを示し、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 補充的な学習として、本文中に「チャレンジ」、節末に「基本の問題」、単元末に「○章のくりかえし練習」「○章のたしかめ」「とりくんでみよう」を設け、基礎的・基本的な学習内容を習得するように工夫されている。</p> <p>(2) 繰り返し学習として、章のはじめに「○章を学ぶ前に」、本文中に「ふりかえり」、巻末に「前学年の復習」「力をのぼそう」を設け、対応する「くりかえし練習」のページを示し、理解の度合いに応じて取り組めるように工夫されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「学び合い」のページにより、自分の考えを友達に伝え、話し合う活動の場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、学習の流れに沿って、思考の過程やまとめ、感想等の記述例「数学マイノート」を示す工夫がなされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「見いだそう」「伝えよう」により、自分の考えを伝える場面や、示された考えについて説明する場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、学習を振り返るために、思考の過程や気付いたこと、分かったこと、感想等の記述例「ノートの作り方」を示す工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「伝える」や「活用する」により、自分の考えや理由を説明する場面や話し合う場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、どんな筋道で問題を解決したのかが分かるように、自分の考えやまとめ、感想等の記述例「ノートの使い方」を示す工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「伝えよう」や「みんなで数学」により、自分の考えや理由を説明する場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、「学習を進めるにあたって」において、学習を振り返るための記述例「ノートの工夫」を示す工夫がなされている。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「みんなで話しあってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」で、話し合い活動の場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、知識や考えを整理し、理解を深めるための複数のノートの記述例「ノートにくふうして学習に役立てよう」を示す工夫がなされている。</p>
104 数 研	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「伝え合おう」「活用しよう」により、思考の過程をまとめたり、説明したりする場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、学んだ内容、重要な事柄、自分や他の人の考えを思い出しやすいノートの記述例「ノートの作り方」を示す工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、「説明しよう」「話し合おう」で、自分の考えを説明したり、話し合ったりする場面を設定するなど、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が見られる。</p> <p>(2) ノート指導に関して、新たな学習や復習の際に、前に学んだことを振り返るための記述例「ノートの工夫」を示す工夫がなされている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において興味・関心を高めるイラストを効果的に配置したり、書き込んで考えるスペースを確保したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「数学のまど」「巻末問題・課題」を設けるなど、配慮されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、学習に関連する写真を大きく印象に残るように配置し、興味・関心を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「社会にリンク」「Mathful」を設けるなど、配慮されている</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、身近な事象が写真やイラストで効果的に配置されていて、興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「深めよう」「課題学習・自由研究」を設けるなど、配慮されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、学習事項の確認をするページを設定し、イラストなどを活用して問題を提示するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「数学の広場」「自由研究」を設けるなど、配慮されている。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、身近な事象について、関連する事項の写真やイラストを効果的に配置する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「数学展望台」「身のまわりへひろげよう」「MathNavi ブック」を設けるなど、配慮されている。</p>
104 数 研	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、吹き出しを効果的に配置し、多面的な視点で学習内容をとらえて考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「やってみよう」「数学探検」を設けるなど、配慮されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果を高めるために、章の導入において、吹き出しやイラストで興味・関心を高め、学習内容が明確になるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって身近な題材を取り上げて学びやすくするために、「生活への利用」「数学のたんけん」を設けるなど、配慮されている。</p>

研究報告書

理 科

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成は、巻頭・巻末や単元末、各内容の導入において身の回りの事象について考えさせる場面を設け、興味・関心を高めるとともに、主体的な探究活動を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、第1・2学年各4単元、第3学年5単元で構成されている。「これまで学んだこと」や「○○で学んだこと」を設定し、既習事項や他教科との関連を確認してから学習に入ることによって、系統性や関連性を重視した学習を促す工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 単元の構成は、各単元のはじめに「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」を明示することによって、系統的な学習のつながりをつかむことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、第1・2学年各4単元、第3学年6単元で構成されている。各単元の最後に「終章」を設定し、単元で学んだことを活かしながら、観察、実験を行うことができるようにすることで、主体的な探究活動を促す工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 単元の構成は、各章のはじめに「これまでに学んできたことをチェックしよう」を設定し、既習事項の復習やこれから学ぶこととの関連を示すなど、学習の系統性がわかる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、第1・2学年各4単元、第3学年6単元で構成されている。単元末に「科学を仕事に活かす」などを設け、学習内容と職業や日常生活との関連を示すことで理科を学ぶ意義や有用性を実感させ、主体的な学習を促す工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成は、各単元の扉に「学んでいくこと」を設定し、小学校・中学校を通した内容の一貫性を図るとともに、目的意識をもって、系統的な学習ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、第1・2学年各4単元、第3学年7単元で構成されている。各単元で扱う事物・現象は、生徒が日常生活で目に触れる機会が多いものを取り上げ、学習のはじめの「疑問」から「課題」の設定に至るまで主体的に学習を促す工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 単元の構成は、各単元のねらいを明確にし、見通しをもたせるとともに、各単元のはじめに「ふり返し」を設け、小学校などで学習した内容を確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の数は、第1・2学年各4単元、第3学年5単元で構成されている。興味・関心を高めるため多くの資料を掲載するとともに、観察、実験の方法では細かく「ステップ」に分ける構成にすることで、生徒に見通しをもたせ、目的意識をもって主体的な学習を促す工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) つまづきやすい内容には「例題・練習・確認」で反復練習をさせている。また、章末のチェックでは、本文の参照ページを示し、自ら学ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導では、単元末の「確かめと応用」で基礎的・基本的な問題を、「活用編」で、P I S A型の問題や活用型の問題に対応できるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 課題学習ごとに「問い」で基礎・基本の定着を図っている。また、「章末問題」で章全体を振り返り、「単元末問題」で知識・理解の総まとめができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導では、章末に章全体の「まとめ」があり、既習事項を復習させている。「単元末問題」で基礎的・基本的な問題に加え、P I S A型読解力の定着を図られる工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 章末には、その章の内容を「学習の確認」で復習させている。また、単元末には「学習のまとめ」で重要事項や基本的な用語をまとめ、再チェックできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導では、単元末に「単元末問題」で基礎的・基本的な問題に加え、活用問題として「活用しよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 章末ごとの「要点をチェック」では、一問一答形式の問題を掲載し復習させている。単元末の「要点と重要用語の整理」で重要語句と、その意味が再度まとめられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導では、単元末に「基礎的・基本的な問題」と「活用・応用問題」に分け、更に習得した知識や技能を活用する問題などができるようにする工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 単元末にある「学習のまとめ」の他に、別冊にて各章で学習した基本事項を「用語の確認」「観察・実験の確認」「要点の確認」の3段階で定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 個に応じた指導では、別冊の「ステップアップ」編で、「基本のチェック」から「力だめし」の発展的な問題へと段階的に取り組めるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等の育成については、目的意識をもって主体的に探究活動に取り組めるように、観察、実験において「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」を示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実については、単元を学習した後に、話し合いを通して内容をより深く理解するために、「学びを活かして考えよう」という活動が設定されているなどの工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等の育成については、観察、実験で予想し、着目点を確認することで目的意識がもてるようになっている。また、主体的に表現したり、考察する部分が設定されたりしているなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実については、話し合いを通して原理や法則を探究していく活動が設定されている。さらに、研究のまとめや発表の場面を示しているなどの工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等の育成については、目的意識をもって取り組めるように課題を「？」マークで示している。また、結果と考察に注釈を付けて、わかりやすく示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実については、各単元の最後の「活用しよう」で内容の説明をしたり、「話し合ってみよう」でコミュニケーションをしたりするなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等の育成については、探究活動が、全ての単元で決まった流れで展開できるようになっている。また、観察、実験を探究過程の手段として捉えることができるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実については、実験の内容に応じて「話し合おう」を設定したり、「わたしのレポート」を掲載したりするなどの工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 思考力・判断力・表現力等の育成については、学習課題の提示から一般化までの展開で、論理的に考える力や判断力が育成できるようになっている。観察、実験では、結果と考察を分けて示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実については、「話し合ってみよう」を設定し、自分の考えを提案・発表したり、他者とコミュニケーションしたりするなどの工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地域素材や身近な題材については、掲載する写真やコラム「科学でGO!」、巻末「未来への宿題」などで、実社会や日常生活と学習内容との関連性や科学の有用性を伝えるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 既習事項や生活経験をもとに考える「before」と章の学習内容をもとに考える「after」で、生徒が自分の考えの変容を自己評価できるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 地域素材や身近な題材については、生活との関連を取り上げた「くらしの中の理科」などの具体例を豊富に紹介し、理科を学ぶことの有用性に実感がもてるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「各単元の終章」「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」等でその方法や結果例を具体的に紹介し、主体的な学習が進められるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 地域素材や身近な題材については、生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容と職業や日常生活との関連を示すなど、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 公式が出てくるところでは、必ず「例題」「問い」を設けて解き方の説明がなされ、公式の使い方がわかるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 地域素材や身近な題材については、「ハローサイエンス」などで、本文展開と関連した話題を掲載し、科学と日常生活との関連や、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活で目に触れる機会が多いものとの関連を図り、学習のはじめの「疑問」から「課題」の設定に至る過程を大切にするような工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 地域素材や身近な題材については、宮崎の資料が多く掲載され、「先人の知恵袋」「ひろがる世界」「はたらく人に聞いてみよう」などで理科の有用性の実感から活用につながるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習を進める上での資料が充実しており、別冊「マイノート」はフルカラー構成、段階的なレベルアップで、生徒が主体的に学習しやすいような工夫が見られる</p>

研究報告書

音 樂 (一 般)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 題材の構成に関して、「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」の三つの柱で構成され、基礎的な事項からその活用まで段階的に学習できるよう工夫されている。また、歌唱、創作、鑑賞のそれぞれの活動において、幅広く多様な音楽に触れることができるよう、様々なジャンルの教材が用意されている。</p> <p>(2) 題材の配列に関して、「音のスケッチ」における創作活動や「Let`s Sing!」における歌唱学習、「Let`s Try!」における指揮の学習、伝統芸能の体験活動、調べ活動、「歌のアルバム」における「ふるさと」の全校合唱など、3年間を通して系統的かつ段階的に学習が進められるように編集されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 題材の構成に関して、表現教材と鑑賞教材を前半と後半に分け、柔軟に関連させながら指導計画を組むことができるように構成され、「音楽学習MAP①」において、それぞれの教材の関連が分かりやすく示されている。また、歌唱、創作、鑑賞のそれぞれの活動において、幅広く多様な音楽に触れることができるよう、様々なジャンルの教材が用意されている。</p> <p>(2) 題材の配列に関して、「ここが分かれば Grade up!」における音楽の要素の理解や「確認しよう」における音符やリズムの学習、「発声」における歌唱の学習、「歌い継ごう 日本の歌」における「ふるさと」の全校合唱など、3年間を通して系統的かつ段階的に学習が進められるように編集されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 発達の段階に応じた目標を達成するために、小学校において活用した楽曲を、さらに発展的な教材として取り扱うことにより、義務教育 9 年間で一貫した音楽学習が行われるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽譜に関しては、巻末に資料集があり、楽曲で主に扱う記号等は、各ページ右上に表示してある。</p> <p>(3) 歌唱や指揮に関しては、歌唱では 1 年生の教科書に基礎的な内容が、指揮に関しては 3 学年を通じて段階的に示してある。</p> <p>(4) 創作に関しては、「音のスケッチ」のページにおいて、を主として、1 年次は、身の回りの言葉を使った言葉遊びを通してリズムに親しませたり、日本語の抑揚を生かした旋律を作ったりする。2 年次は、動機（テーマ）や構成を工夫した曲を作る。3 年次は、1・2 年次に学んだことを生かして、作曲を行うというように、段階的に創作に親しむ工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 発達の段階に応じた目標を達成するために、小学校において学習した題材名を示すことにより、系統性を意識しながら、義務教育 9 年間で一貫した音楽学習が行われるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽譜に関しては、ゲームを通して音符などに触れてあり、巻末に資料集がある。記号等は、曲の終わりに表示してある。</p> <p>(3) 歌唱や指揮に関しては、「My Voice!」や「指揮をしてみよう!」のコーナーを設けながら、3 学年を通じて段階的に示してある。</p> <p>(4) 創作に関しては、「Let's Create!」や「My Melody!」のページにおいて、1 年次はイメージ画や階名唱をつかった作曲を行い、2 年次は、階名唱を元に和音を作ったり、身近な言葉でリズムアンサンブルを行ったりする。3 年次は歌詞の抑揚を生かした旋律作りや、構成を生かしたリズムアンサンブルを行うというように、段階的に創作に親しむ工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 言語活動の充実に関して、「伝えてみよう！」において、楽曲を聴いて感じたことを、文章にまとめ、発表する活動が用意されており、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語を通じた音楽の理解に関して、「With My Heart」において、国内の著名な音楽家によるコメントと写真が載せられている。また、「A Message for You」において、作詞者や作曲者による制作の意図が紹介されるなど、楽曲の理解を助けるための工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 言語活動の充実に関して、「ここが分かれば Grade up!」において、音楽の要素の学習を通して感じたことを、まとめ発表する活動が用意されており、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語を通じた音楽の理解に関して、生徒になじみのうすい言葉が、分かりやすくていねいに説明されている。また、「作曲者の言葉」や「作詞者の言葉」において、制作の意図や音楽に関する考え方等が紹介されるなど、楽曲の理解を助けるための工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 教科書の大きさはA B変型判である。表紙の裏面には日本の著名な若手演奏家の写真とメッセージを掲載して、音楽の魅力を伝えるような工夫がされている。</p> <p>(2) 学習効果を高めるための工夫として、ページ右上に楽曲で使用される用語や記号が大きく掲載されている。また、「楽典」の確認や理解がしやすいように折込みページが巻末に設けられている。</p> <p>(3) 歌唱についての学習がすすめやすいよう、姿勢や発声の仕方について1年時の教科書に丁寧に掲載されている。</p> <p>(4) アニメキャラクターが要所に登場し、吹き出しは読みやすく分かりやすい言葉で表され、理解・思考の手助けとなるよう工夫されている。</p> <p>(5) 製本に当たり、印刷において、環境に優しい再生紙と植物油インキやグリーン電力が使われている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮して作成されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 教科書の大きさはA B変型判である。表紙の裏面には、実際の演奏場面の写真を掲載して、生徒が実際に音楽に触れてみたいくなるような工夫がされている。</p> <p>(2) 学習効果を高めるための工夫として、音符、休符、記号などの楽譜を理解する上で必要な基礎的な知識を、ゲームを用いながら学ぶことができるコーナーが設けられている。</p> <p>(3) 歌唱についての学習がすすめやすいよう、姿勢や発声の仕方について第1学年から第3学年まで系統的に掲載されている。</p> <p>(4) アニメキャラクターが要所に登場し、吹き出しは思考・判断・表現への指針となる問いかけの形に工夫されている。</p> <p>(5) 製本に当たり、ユニバーサルデザインへの取組により色覚特性のある生徒への適応や特別支援教育の視点から情報が読みとれる配慮をして作成されている。</p>

研究報告書

音 樂

(器樂合奏)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 題材の構成に関して、様々な楽器を扱うことにより、幅広く多様な音楽活動が展開できるよう工夫されている。また、リコーダーアンサンブルのための教材が豊富であるとともに、特に和楽器のための教材が数多く載せられており、和楽器の響きに関心をもち曲想を楽しみながら演奏に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 題材の配列に関して、「Let's Play!」「Let's Try!」の合奏曲のページにおいて、生徒の実態に応じた段階的な取り扱いができるよう楽曲を配置し、習得した演奏技能を活用しながら、学習がすすめられるよう工夫されている。また、「名曲旋律集」において名曲のテーマが紹介され、リコーダーでの演奏を楽しむことができるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 題材の構成に関して、様々な楽器を扱うことにより、幅広く多様な音楽活動が展開できるよう工夫されている。和楽器のための教材が豊富であるとともに、特に、リコーダーアンサンブルの楽曲が数多く載せられておりリコーダーを中心とした様々な組み合わせのアンサンブル活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 題材の配列に関して、「アンサンブル セミナー」や「アンサンブル」の合奏曲のページにおいて、生徒の実態に応じた段階的な取り扱いができるよう楽曲を配置し、習得した演奏技能を活用しながら学習がすすめられるよう工夫されている。また、「名曲スケッチ」において名曲のテーマが紹介され、リコーダーでの演奏を楽しむことができるよう工夫されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 篠笛について、姿勢と構え方、音の出し方について、写真・イラストで具体的に表示するとともに、短い練習曲を用いて運指法が写真で示されている。合奏譜では、篠笛のみのアンサンブルが紹介されている。</p> <p>(2) ギターのページでは、コードの押さえ方や弾き方の指の形が、写真で例示してある。</p>
27 教 芸	<p>(1) 篠笛について、姿勢と構え方、音の出し方について、写真・イラストで具体的に表示するとともに、短い練習曲が掲載されている。合奏譜では、篠笛が扱われている楽曲が紹介されている。</p> <p>(2) ギターのページでは、コードの押さえ方がイラストで例示してある。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 言語活動の充実に関して、器楽曲を鑑賞し感じたことを、文章に表し紹介する活動が載せられている。また、「音のスケッチ」において、自分の表現の意図をまとめ発表する活動が取り入れられるなど、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語を通じた音楽の理解に関して、「弾いてみよう」「打ってみよう」「吹いてみよう」において、また「With My Heart」において、国内の著名な音楽家自身による楽器の紹介、演奏や音作りに関する思いが演奏する姿と共に載せられており、器楽への理解や意欲を高めるための工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 言語活動の充実に関して、「ここが分かれば Grade up!」において、グループで話し合いながら創作する活動が取り入れられている。また、思考・判断するための手がかりとなる問いかけが「吹き出し」の形で示され、言語活動の充実を図るための工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語を通じた音楽の理解に関して、「和楽器こぼれ話」において、日本の伝統音楽に関する言葉が、分かりやすくていねいに説明されている。また、「楽器と出会う」において、国内の著名な音楽家による楽器との出会いのエピソードが載せられており、器楽への親しみを増すための工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 表紙裏の口絵①に若手演奏家の写真や映画などで使われる音楽の制作現場の写真が多数掲載されており、生徒にとって親しみやすい内容になっている。</p> <p>(2) 身近な題材について、折込みページで横笛を作るコーナーがあり、生徒が楽しみながら器楽の学習をすすめられるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 利便性を高めるために、リコーダーの楽曲を掲載しているページの余白には、新出運指を示し、生徒が演奏しやすい工夫がなされている。</p> <p>(4) アニメキャラクターが要所に登場し、「吹き出し」は読みやすく分かりやすい言葉で表され、理解・思考の手助けとなるよう工夫されている。</p> <p>(5) 製本に当たり、印刷において、環境に優しい再生紙と植物油インキやグリーン電力が使われている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮して作成されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 表紙裏の口絵①とギター学習のページには、県内出身の演奏家である大萩康司氏の写真が掲載されており生徒にとって親しみやすい内容になっている。</p> <p>(2) 身近な題材について、人気映画の主題歌や人気グループのヒット曲が掲載されており、生徒が楽しみながら器楽の学習をすすめられる工夫がなされている。</p> <p>(3) 利便性を高めるために、リコーダーの教材曲の楽譜の頭には、曲に出てくる音域を示し、生徒が演奏しやすい工夫がなされている。</p> <p>(4) アニメキャラクターが要所に登場し、「吹き出し」は思考・判断・表現への手がかりとなる問いかけの形に工夫されている。</p> <p>(5) 製本に当たり、ユニバーサルデザインへの取組により色覚特性のある生徒への適応や特別支援教育の視点から情報がしっかり読みとれる配慮をして作成されている。</p>

研究報告書

美 術

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 教科の目標を達成するために、見る、描く、つくる、デザインするなどの身近な素材を使い、体験的な表現活動や多くの作品を鑑賞することで、創造する喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる工夫が見られる。</p> <p>(2) 題材の構成については、第1学年では美術に親しむ内容を、第2・3学年では日本の文化、表現から見える美術の歴史、人物画から自己を見つめる内面表現の題材を構成するなど、発達段階に応じた構成の工夫が見られる。</p> <p>(3) 題材の配列については、第1学年から第3学年を通して「美術を通して学ぶ大切なこと」をテーマに自他の理解、価値観の共有、共感を柱に単元ごとにメッセージが込められているところに工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 教科の目標を達成するために、美術文化についての理解を深め、古くからの美術作品や現代の作品を織り交ぜ、そのよさや伝統と文化を尊重し、文化の継承の重要性を理解する態度を養うような工夫が見られる。</p> <p>(2) 題材の構成については、発達段階に応じ、第1学年ではユーモラスな作品や身近な生活から、第2・3学年では日本の歴史や現代社会から共感しやすいテーマで美術にアプローチする単元の構成に工夫が見られる。</p> <p>(3) 題材の配列については、第1学年から第3学年を通して絵や彫刻、デザインや工芸に表現活動や鑑賞を配し、基礎的な内容から発展的な内容へ導き、学習を支える資料で学習内容を広げ、深める工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 教科の目標を達成するために、美術の基礎的な能力を伸ばせるよう作者の心情や表現の工夫、技法の紹介をし、豊かな情操を養うために美しいものや優れたものに接して感動する体験をするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 題材の構成については、発達段階に応じ、第1学年では「出会いと広がり」で身近な生活、第2・3学年上巻では「学びの深まり」で日本の文化、下巻では「美の探究」で現代の美術を配する構成の工夫が見られる。</p> <p>(3) 題材の配列については、絵や彫刻、デザインや工芸等の表現活動にそれぞれ鑑賞活動を配置し、表現活動や鑑賞活動を深め、作品に込められた思いが理解できるように、バランスよく配列する工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 美術の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、色彩についての学習や用具の使用方法についてのページを巻末に設け、効率よく多様な題材に対応できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 題材ごとに、発想の方法、構成の手順、制作方法等を複数ページで取り扱い、多くの生徒作品例によって、補足的な学習や発展的な題材を扱うことができる工夫がなされている。</p> <p>(3) 個に応じた指導ができるよう、様々な発想方法を掲載し、多くの素材や制作方法が取り扱われており、生徒が自分の表現意図に応じた多様な手段が選択できる工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 美術の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、学習を支える資料を巻末に設け、表現、鑑賞を相互に生かし、発想や構想のヒント、用具の使用方法などの参考となるよう工夫されている。</p> <p>(2) 題材ごとに、制作手順が写真等で紹介されており、作品例も単純なスケッチから「生活に生かそう」等、多様な例が掲載され、補足的な学習や発展的な題材が選択できる工夫がなされている。</p> <p>(3) 個に応じた指導ができるよう、「発想を広げよう」で、違った材料や作品例が取り扱われており、生徒が自分の表現意図に応じた多様な制作方法が選択できる工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 美術の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、「表現や鑑賞の資料」を巻末に設け、発想や技能の習得、色彩の基礎、美術の歴史や文化を効率よく学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 題材ごとに、生徒自身のアイデアスケッチや制作手順、多くの作品例が示されており、分かりやすく多様な表現ができ、補足的な学習、発展的な題材が選択できる工夫がなされている。</p> <p>(3) 個に応じた指導ができるよう、題材ごとに、基礎的な作品からより発展的な作品を取り入れ、多角的な視野から材料や表現方法を選択し、様々な表現が選択できる工夫がなされている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 言語活動を充実させるために、作品の鑑賞に「作者の言葉」を設け、文章から作者の意図を読み取ったり、作品紹介カードを作り、作品から受けた印象を言葉にしたりするなど、思考力・判断力を培う工夫が見られる。</p> <p>(2) 表現力やコミュニケーション能力を育成するために、作品の発表会や交流活動を取り入れたり、共同でデザインを練り直し、課題を追求する題材を取り入れたりするなどの工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 言語活動を充実させるために、詩や歌詞を作品に併用したり、「作者の言葉」を適宜掲載し、作品に込められた作者の意図を読み取り、さらに発想を広げる場面を取り入れたりするなど、思考力・判断力を培う工夫が見られる。</p> <p>(2) 表現力やコミュニケーション能力を育成するために、共同で構想を練り、分担して作品を完成させる題材を取り入れたり、構想への意見を聞き、改善していく手法を取り入れたりするなどの工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動を充実させるために、「作者の言葉」を多く取り入れたり、インタビュー形式で創造に対する思いを伝えたり、言葉から受けたイメージを制作に発展させる題材を扱うなど、思考力・判断力を培う工夫が見られる。</p> <p>(2) 表現力やコミュニケーション能力を育成するために、作品の表現を話し合い、感じた想いを交換し合う場面を適宜取り入れたり、話し合いを深め、共同で制作や生活空間を装飾する題材を設けたりするなどの工夫が見られる。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点 2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性として、効率よい学習の展開や深まりを促す配慮から、2・3学年合本構成であり、「原寸ギャラリー」では、美術作品の細部まで鑑賞できるよう配慮され、「絵巻物の世界」では、右から左へ読み進める絵巻物の形式に合わせ、進むページを逆にする工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材の事例として、「不思議昆虫図鑑」、「材料を生かして」や「木でつくる工芸」といった題材のように、木、枝葉、あき缶等の地域素材の紹介や活用・発展につながる工夫が見られる。</p> <p>(3) 分かりやすく学びやすい工夫として、美術と社会生活、暮らしの関連性や美術を学ぶ意義を、作家のコメントや制作風景にのせて伝えている。4～6ページに渡る題材構成もあり、テーマ追究や発想の応用につなげている。巻末では道具の扱い方や色彩の整理など基礎・基本の定着を支えるなど細やかで充実している。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性として、豊富な題材を各校の実情に応じた選択や題材の相互関連を図る配慮から2・3学年合本構成であり、題材目標のチェックリストが、学習の振り返りや自己評価につながっている。また、制作解説、補助資料等制作の導入を助ける工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材の事例として、縄文土器の紹介や巻末資料の中に「紙・竹・木・土」といった素材の紹介とそこから広がるイメージや作品制作の可能性があることのできるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 分かりやすく学びやすい工夫として、「特別展示室」では詩を添えた鑑賞や原寸大による作品細部の紹介があり、大判写真により臨場感を与えている。巻末の「学習を支える資料」では、制作手順や作品例や技法の紹介、作者の制作風景や言葉、生徒作品の制作の様子やコメントの紹介等のページが充実している。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性として、生徒の発達段階を考慮し、領域や項目の系統性に即した3分冊構成であり、「教科書美術館」では4ページに渡る作品の紹介、「東へ西へ」では和紙を用いた原寸大浮世絵版画の紹介、現代の名工・デザイナーの紹介等により意欲を喚起させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域素材や身近な題材の事例として、「身近なものを立体で表そう」や、「材料と対話して」などでは、野菜・果物・流木など自然素材を観察し、温かみに触れる機会を設定するなど工夫が見られる。</p> <p>(3) 分かりやすく学びやすい工夫として、従来より2cm幅広で作品を大きく掲載する配慮があり、またデザイナーのインタビューと鑑賞を合わせ、美術や制作の意義を伝えている。「学びのねらい」や「POINT」など参考となる視点の提示があり、また制作手順や美術用語等をまとめた巻末が充実している。</p>

研究報告書

保健体育

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるため、言語活動における資料が多く示してあったり、運動に親しんでいくために必要な習慣や意欲・能力の説明が、発達段階ごとにまとめているなど、視覚的にも活用しやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるため、めあてと学習の流れを明確にした上で、心とからだの関わりを科学的に理解でき、主体的に学習に取り組み、確かな知識の習得とその活用ができるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるため、必要な知識や技能を課題解決学習によって習得できるようにし、中学生の身近な生活と比較して、具体的な内容を提示し、実践力が身に付くような工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるため、身近な生活を振り返り自らの健康を適切に管理できる資質や能力を身に付け学習した知識や技能を実生活において活用・応用できるような工夫が見られる。</p>
50 大 修 館	<p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるために、思考力・判断力・表現力を育成し、自分の表現方法や仲間との関わり方を円滑にするために、ソーシャルスキルを高められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるため、基礎的・基本的な知識を確実に習得し、生活に即して自らの健康を保持増進し管理するための思考力・判断力を高めるための工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるため、中学生の生活と関連づけた言語活動に視点をおき、取り組みやすい課題が提示され、協働学習により仲間とともに課題解決できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるため、自己分析する力やコミュニケーションスキルを高めることで、自ら学び自ら考える力を育み、生涯にわたるスポーツライフを実現していけるような工夫が見られる。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 補充的な学習や繰り返し学習ができるように、「やってみよう」、「考えてみよう」が学習の流れに沿って明記されており、一人一人が学習したことを自分の生活に活用できるよう構成されている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識の定着を図るために、単元の終わりに「確認の問題」、「活用の問題」が設けてあり、また索引とは別にキーワードの解説も掲載されており、その確認ができるよう工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 補充的な学習や繰り返し学習ができるように、「考えよう」、「学習を活かして」が学習の流れに沿って明記されており、一人一人が学習したことを自分の生活に活用できるよう構成されている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識の定着を図るために、章末の学習のまとめにおいて「重要な言葉」がまとめてあり、その言葉についての解説と関連ページが一覧になっており、繰り返し学習できるよう工夫されている。</p>
50 大 修 館	<p>(1) 補充的な学習や繰り返し学習ができるように、「クエスチョン」、「トライ」、「チャレンジ」が学習の流れに沿って明記されており、一人一人が学習したことを自分の生活に活用できるよう構成されている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識の定着を図るために、重要語句の解説や実生活と関連させたものなどの「コラム」、「トピック」、「事例」などの補助資料が各単元において充実しており、その定着をより確かなものにするよう工夫されている。</p>
224 学 研	<p>(1) 補充的な学習や繰り返し学習ができるように、「ウォームアップ」、「エクササイズ」、「活用しよう」が学習の流れに沿って明記されており、一人一人が学習したことを自分の生活に活用できるよう構成されている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識の定着を図るために、章のまとめにおいて「用語の確認」、「基礎の完成」、「活用の問題」がそれぞれまとめられており、繰り返し要点を学習して理解を深められるよう工夫されている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 言語活動の充実が図られるように、体育理論を実技に生かす方法や自然災害、オリンピックなどの章末資料が充実しており、多様な学習形態の中で基礎的・基本的な知識を活用してねらいに迫ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 各单元において、活用コーナー(考えてみよう、実生活に生かそう、やってみよう、読み物資料)が充実しており、マークで分類され表記されていることで、ねらいがとらえやすく言語活動を伴う学習に接続しやすいよう構成されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 言語活動の充実が図られるように、スポーツとの多様な関わりの部分の「調べる」に焦点をあて、オリンピックの詳しい資料を提示するなど、各章それぞれにおいて巻末資料が工夫されている。</p> <p>(2) 各单元において、「学習を活かして」、「キーワード」という部分が出てくることで、本時で学習した知識を活用して、資料等を参考に考える時間が設定しやすいよう構成されている。</p>
50 大 修 館	<p>(1) 言語活動の充実が図られるように、必要となる学習方法(ディスカッション、ブレインストーミング、課題学習等)についての解説のほか、ICT 活用のための URL の紹介など学習形態のねらいに迫ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 各单元において、後半に設定されている「学習のまとめ」の中で、「振り返る」、「学びを生かす」、「学びを広げる」という形で学びをスモールステップ化させ、思考・判断・表現がしやすい形態に構成されている。</p>
224 学 研	<p>(1) 言語活動の充実が図られるように、1 単位時間の流れに沿って導入・展開・まとめの各段階に応じて「ウォームアップ」、「エクササイズ」、「活用しよう」が掲載されており、多様な言語活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 各单元において、言語活動を伴う学習活動を実施する際に必要な補助資料が充実している。実習ではチェック欄が設けてあり、災害の部分では具体的な数値や資料が多く示されるなど興味関心を高められるよう構成されている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、記述を伴う学習活動や、生徒の興味関心を高める資料が多く掲載されている。調べる学習も取り入れ、健康や安全、スポーツ、防災などの面からも地域や郷土に関心が持てるよう工夫されている。</p> <p>(2) 横幅が広いマガジンサイズで見開きしやすく、科学的な理解を促すイラストや図表が豊富に掲載されている。保健編・体育編が学年別に構成されており、各学年の学習内容が明確に分かるよう工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、資料が大きくて見やすい上に最新の資料が数多く掲載されており、学習内容を容易に調べられるよう工夫されている。各章の最後のまとめの資料が充実しており、関心意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>(2) 横幅が広くて見開きしやすく、有名アスリートの写真や体育編を巻頭に掲載することで、興味関心を高めている。また、自然災害についての資料も数多く掲載され、危機意識を高めるよう工夫されている。</p>
50 大 修 館	<p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、カラーユニバーサルデザインに基づき、章ごとに色の異なるツメを設けるなど、グラフの表現や色遣いが配慮されている。イラストや記述等が男女平等に配慮するよう工夫されている</p> <p>(2) 基礎的・基本的知識が確実に習得できるよう、文章資料が豊富に掲載され、コラムやトピック等興味関心を高める資料も多い。体育編には、中学生の写真を多く掲載し、学習内容を身近に感じられるよう工夫されている。</p>
224 学 研	<p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、各時間の冒頭で学習内容とキーワードを明示し、明確な意図をもって取り組めるよう工夫されている。学習内容に関わる職業が紹介されており、身近な題材として実生活に生かすよう工夫されている。</p> <p>(2) 話し合いによる課題解決方法等を学習するなど、コミュニケーション能力の向上にも配慮されている。また、自然災害や、緊急時における応急処置に対する実践力を身に付けさせるよう工夫されている。</p>

研究報告書

技術・家庭 (技術分野)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 巻頭に「技術分野のガイダンス」があり、技術の学習への導入を円滑に行うための工夫がなされている。</p> <p>(2) 単元目標を達成するために、各単元とも「目標→始めの活動→まとめの活動」という共通した流れにするとともに、「技術のとびら」や「実習例」「コンピュータの使い方」などを効果的に配置するなどの工夫がなされている。</p> <p>(3) 技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるために、巻末に用語の意味を補足する「言葉のページ」や「防災手帳」などの工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 巻頭に「技術分野で何を学ぶか」があり、技術の学習への導入を円滑に行うための工夫がなされている。</p> <p>(2) 単元目標を達成するために、製作や栽培の例を各単元の冒頭に配置するとともに、各章の冒頭にある「トピック」や各節の冒頭にある概説、イメージ写真などを効果的に配置するなどの工夫がなされている。</p> <p>(3) 技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるために、巻末に「さまざまな工具」「発電方法の比較」「栽培概要の例」などの工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 巻頭に「ガイダンス」があり、技術の学習への導入を円滑に行うための工夫がなされている。</p> <p>(2) 単元目標を達成するために、教科書の左上に学習のタイトルや「考えてみよう」「思い出してみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの学習の流れを示すコーナーを効果的に配置するなどの工夫がなされている。</p> <p>(3) 技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるために、巻末に「進んで技術を評価し生活をよりよくする」という単元を配置するなどの工夫がなされている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 個に応じた指導を行うために、「私の工夫」コーナーで学習の内容を深化したり、発展させたりする工夫がなされている。 (2) 各単元末に「学習のまとめ」があり、学習内容の定着状況を生徒自身で振り返ったり、発展的な課題に取り組んだりできるような工夫が見られる。
6 教 図	(1) 個に応じた指導を行うために、「発展」コーナーや「コツ」マークで実習や活動のコツを示し、製作や栽培が円滑に行えるように工夫がなされている。 (2) 各単元末に「まとめ」があり、基礎的・基本的な内容を整理するとともに、章末問題で学習内容の定着状況を生徒自身で振り返らせるような工夫が見られる。
9 開 隆 堂	(1) 個に応じた指導を行うために、「参考」コーナーで学習内容に関連する話題を紹介するとともに、「探究」コーナーで学習の内容を深化、発展させる工夫がなされている。 (2) 各単元末に「学習のまとめ」があり、学習内容の定着状況を生徒自身で振り返ったり、生活との関連を考えたりさせるような工夫が見られる。

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「始めの活動」や「まとめの活動」コーナーにおいて、思考力や表現力を育成するためのヒントを付け加えたり、評価・活用のためのワークシートをまとめたりしながら、言語活動を展開しやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 技術分野特有の言語活動を充実させるために、内容Aに製作図の詳しい作成手順、内容Bに身の回りにある物の回路図、内容Cに写真表示された栽培実習例、内容Dにたくさんのフローチャート例表示の工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 「考えよう」や「調べよう」コーナーにおいて、考える手立てとなる課題や資料等を入れることや、意図的に他者と話し合いながら活動を進めていく指示を入れたりして、言語活動を展開しやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 技術分野特有の言語活動を充実させるために、内容Aに製作題材の製作図、内容Bに製作題材の回路図、内容Cに詳しい栽培実習例、内容Dに生徒が興味・関心を引くようなフローチャート例表示の工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 「考えてみよう」や「調べてみよう」コーナーにおいて、思考力や表現力を育成するための写真を入れることや、学習のまとめによるふりかえりと生活化により、言語活動を展開しやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 技術分野特有の言語活動を充実させるために、内容Aに実習例の製作図、内容Bに実習例の詳しい回路図、内容Cにイラスト表示された栽培実習例、内容Dに色分けされたフローチャート例表示の工夫がなされている。</p>

※ A：「材料と加工」に関する技術

B：「エネルギー変換」に関する技術

C：「生物育成」に関する技術

D：「情報」に関する技術

※ 技術分野特有の言語とは、設計や計画の場面における製作図や回路図、栽培・飼育計画表、フローチャート等の言語

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) ガイダンスでは、身近な製品の進歩の様子や創意・工夫が分かりやすくまとめられているとともに、これからの3年間の学習内容をイメージしやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 内容ごとに色が割り振られており、その色を使って、本文の表題、爪見出しなどが統一されていることで、学習内容の区別や検索がしやすい工夫がなされている。</p> <p>(3) 作業方法等について、機械・工具類の写真とともに見開き1ページにまとめてあり、見やすく分かりやすい。教科書のサイズも大きく、余白にひとくちクイズを掲載するなどの工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 序章では、身近な製品の進歩やものづくりの様々な観点が分かりやすくまとめられているとともに、これからの3年間の学習内容をイメージしやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 内容ごとに色が割り振られており、その色を使って、ページ全体の記号、爪見出しなどが統一されていることで、学習内容の区別や検索がしやすい工夫がなされている。</p> <p>(3) 機械・工具類や作業方法等の写真やイラストが大きく掲載されており、見やすく分かりやすい。余白を意図的に入れることで、文章や文字が見やすく、分かりやすい工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) ガイダンスでは、身近な製品の進歩や社会における役割が分かりやすくまとめられているとともに、これからの3年間の学習内容がイメージしやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 内容ごとに色が割り振られており、その色を使って、表題番号や偶数ページの爪見出しなどが統一されていることで、学習内容の区別や検索がしやすい工夫がなされている。</p> <p>(3) 機械・工具類や作業方法等の写真やイラスト等がくわしく多数掲載され、分かりやすい。余白にも学習内容に関連した工具の写真や豆知識を掲載するなどの工夫がなされている。</p>

研究報告書

技術・家庭
(家庭分野)

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭科学習のガイダンスでは、小学校の学習内容との関連を、領域ごとに色分けし、上下に写真を配置し構成することで、スムーズな導入を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習指導要領の4つの領域のうちB「食生活と自立」を最初に配置し、生徒にとって関心の高い領域から配置し意欲的に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「どんな自分になりたいかな」で、領域ごとに自己チェックし3年後の自分像の記述欄を設定している。「問題を解決する道筋」で学習の見通しや、将来の自分像をもたせるような工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 家庭科学習のガイダンスでは、小学校での学習内容のふり返りや、中学校3年間での領域別の目標を記述する欄を設け、学習の見通しをもたせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習指導要領の4つの領域を内容に合わせて配置し、章ごとにおいて、資料に通し番号を記すことで資料活用を図りやすくする工夫が見られる。</p> <p>(3) 「自立度チェック」で、領域ごとに自分を具体的に見つめ、生活への課題に気付きをもたせることで、発達の段階に応じて目標を設定することができ、生徒の主体的な学習を促せるような工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 家庭科学習のガイダンスでは、自らの生活をふまえ、中学校での学習内容について「自立」「共生」などの方向性を示し、学習の見通しをもたせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習指導要領の4つの領域を内容に合わせて配置し、探求、参考、発展を取り上げ、関心をもち意欲的に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「人やものとかかわりながら学ぼう」で、課題に気付き生活に生かす学習のプロセスを設け、マークの意味を記載することで、これからの学び方を示唆し、生徒の主体的な学習を促すような工夫がなされている。</p>

- ※ 4つの領域
- A「家族・家庭と子どもの成長」
 - B「食生活と自立」
 - C「衣生活・住生活と自立」
 - D「身近な消費生活と環境」

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補充的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 基礎的・基本的な知識や技能のふり返りを行えるように「基礎技能ページ」を設けるなどの工夫が見られる。 (2) 補充的な学習が充実するように、実物大食品の写真や製作過程でつまずきやすい部分の拡大図等を掲載する工夫がなされている。 (3) くり返し学習できるように「リンク」「他教科」「小学校」等のマークを活用するなどの工夫がなされている。
6 教 図	(1) 基礎的・基本的な知識や技能のふり返りを行えるように「基礎・基本の確認欄」を設けるなどの工夫が見られる。 (2) 補充的な学習が充実するように、調理実習の失敗例や切り方の原寸大写真の掲載等の資料を提示する工夫がなされている。 (3) くり返し学習できるように「キーワードチェック」欄を活用するなどの工夫がなされている。
9 開 隆 堂	(1) 基礎的・基本的な知識や技能のふり返りを行えるように作業の流れや手順を図式化するなどの工夫が見られる。 (2) 補充的な学習が充実するように、実験例や実物大食品の写真の掲載や各章にある「ふり返り」などの工夫がなされている。 (3) くり返し学習できるように他の学習内容と関連する「リンク」マークを活用するなどの工夫がなされている。

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 表現活動を意識した学習が充実するように、自分の思いや気付きを伝え合うための活動やロールプレイング、まとめと発表の仕方などの活動例や実践例を数多く取り入れるなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、図表や概念図、ワークシート例、レポート例などを充実させ、考えたり発表したりするような実習や作業を取り入れるなどの工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 表現活動を意識した学習が充実するように、家族とのかかわりを考えさせるロールプレイングの例や地域の人へのインタビューなどの活動を設定し、自分の思いや気付きを伝え合う活動を行うなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、小題材の導入Qにおいて、グループやクラスで話し合ったり、考えたりできるような活動を取り入れるなどの工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 表現活動を意識した学習が充実するように、巻末資料に言語活動が充実する学習の流れや手紙の書き方を掲載したり、ロールプレイングの方法やレポート作成の仕方を豊富に例示したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、小題材の導入で話し合い活動を多く取り入れたり、各領域のまとめで各自の気付きや実践を記述させたりするなどの工夫がなされている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 生徒にとって学びやすいように「日本各地の郷土料理」や「全国各地の雑煮の例」では、地域素材を生かした身近な教材を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 西都児湯地区が毎年参加している「全国中学生創造ものづくり教育フェア（弁当・バッグ・生徒作品）」の掲載により、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。</p>
6 教 図	<p>(1) 生徒にとって学びやすいように「全国各地の郷土料理」や「日本全国のお雑煮マップ」では、身近な地域の教材を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 中学生に身近な年中行事や人生のお祝い事を取り上げることで未来の自分の姿を思い浮かべ、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 生徒にとって学びやすいように「地域の食材と郷土料理」や「生鮮食品や肉の調理」では、地域の食材を生かした身近な料理を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 「未来に向かって」では宮崎県の「芋生玲子さん」、「伝統文化」では宮崎漆器が紹介されることにより、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。</p>

研究報告書

英 語

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、単元（題材）の構成や配列等に工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「Presentation」で自己表現できるように、各セクションに基本文に関する練習問題を配置するなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元において、「Starting Out」「Dialog」「Read and Think」の活動を経て、「Activity」や「Daily Scene」で複数の技能を関連付けたまとめの活動を行うなど、4技能をバランスよく育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、国際交流体験や「落語」などの伝統芸能に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「My Project」で自己表現できるように、各セクションに技能別の練習問題に繰り返し取り組ませる工夫がされている。</p> <p>(2) 各セクションにおいて、「Basic Dialog」「Listen」「Speak」「Try」「Writing」の活動を経て、「POWER UP」で複数の技能を関連づけたまとめの活動を行うなど、4技能をバランスよく育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、韓国やフィンランド訪問、トルコと日本の友情物語、世界の文化や習慣に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「Chapter Project」で自己表現できるように、各セクションに技能別の練習問題を配置するなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 各セクションにおいて、基本文を使った「Activities」の技能別活動を経て、「Review」で複数の技能を関連づけたまとめの活動を行うなど、4技能をバランスよく育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、ドイツと日本の3Rs、ジェスチャーの違い、世界遺産に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
15 三省堂	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「Project」で自己表現できるように、各セクションに技能別の練習問題を配置し、繰り返し練習させる工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元において、「GET」で基礎的・基本的な学習内容を習得し、「USE(Read, Speak, Write)」の活動で複数の技能を関連づけたまとめの活動を行うなど、4技能をバランス良く育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、ハワイやインド、オーストラリアの文化や日本の寿司に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「Project」で自己表現できるように、各セクションに技能別の練習問題を配置するなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元において、「Hop」「Step」「Jump」の段階的な活動を経て、「Jump Task」で複数の技能を関連づけたまとめの活動を行うなど、4技能をバランスよく育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、世界各地の水問題、ハロウィーンの風俗習慣や世界の中学生の比較に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、既習の学習内容を活用しながら、「Go for It!」で自己表現できるように、各セクションに技能別の練習問題を設置するなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元において、「Try It!」で4技能別の活動を学び、「You Can Do It!」の活動を経て、単元末の「Go for It!」「Let's Read」で複数の技能を関連づけたまとめの活動を行うなど、4技能をバランスよく育成できるような構成になっている。</p> <p>(3) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、日本の歴史上の人物や沖縄と音楽、セラピードッグや世界の気候に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がなされている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(2)〕 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、補足的な学習や繰り返し学習など、個に応じた指導を行うための工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、各セクションで基本文の練習を行い、単元終わりの「Activity」では、「聞く」「話す」「書く」を中心にして重要事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、「一言メモ」や「コラム」を設け、本文内容の理解やコミュニケーションに役立つ工夫がされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、最低限習得すべき基本的な文型を各セクションに「Basic Dialog」として明示し、「英語のしくみ」で重要な文法事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、「発音クリニック」を設け、発音と綴り字の関係や音声の特徴を示し、音声への注意を喚起する工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、単元ごとの「Review」で基本文についての練習問題に取り組み、「Check It Out」で重要な文法事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、「Tips」を設け、コミュニケーションを円滑にするためのワンポイントアドバイスを示すなど工夫がされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、「Get」で「聞く」「話す」「書く」ことを中心に、「Use」では、「読む」「話す」「書く」活動を中心にして、重要事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、「Idea Box」を設け、会話のつながりの言葉や役に立つ表現が示されるなど工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、単元の最後に「Task」や基本をまとめた「英語のしくみ」を設定することで、重要事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、別冊「Essentials」を添付し、教科書で学習した語句・文法事項等を自主的に学習できるような工夫がされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、基本文のあとに「聞く」「話す」「書く」ことを中心に練習を行い、単元末の「Language Focus」でまとめをすることで、重要事項を繰り返し学習できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 補足的な学習を充実させるために、「Your Coach」を設け、進度に応じた学習方法のアドバイスをすることで、自主的に学習できるような工夫がなされている。</p>

1 地域の実態や課題に応じた指導を行うための内容の充実

〔観点 1-(3)〕 思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実が図られるような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元ごとに、自分の考えを表現する「Activity」や、自己表現活動で使える語句や表現をまとめた「Tool Box」など、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、「Daily Scene」で日常生活場面でのコミュニケーション活動を取り入れ、「Presentation」で「将来の夢」や「町紹介」など、身近なテーマについてスピーチをする活動を設定する工夫がされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) セクションごとに、自己表現をサポートする「WORD BOX」を設けて、新出事項を用いたペアでの対話活動で様々な表現ができるようになるなど、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、「POWER-UP」で各技能の一層の育成を図り、「My Project」で「スキット作りを楽しもう」や「CMをつくろう」など、自分の考えを整理して発表する活動を設定する工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) セクションごとに、「Activities」で聞いたり話したりした内容を生かして書く活動を行ったり、「Word Tree」で語彙力の強化を図ったりするなど、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、「Talking Time」で日常的な場面の表現を練習し、「Chapter Project」で「日記を書こう」や「将来の夢」など、自分の考えを書いて発表する活動を設定する工夫がされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) セクションごとに、「Drill」「Practice」の順で言語活動を配列し、「Word Bank」を参考にして、書いたり話したりする活動を取り入れるなど、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、日常的な場面の表現を聞いたり話したりする「Let's Listen /Talk」を設け、「Project」で「有名人を紹介しよう」や「自分の夢を紹介しよう」など、情報を整理して発表する活動を設定する工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) セクションごとに、話すことと書くことを連携させた活動を設定したり、言語活動に使用する語彙の充実を図るための「Tool Kit」を示したりするなど、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、日常的な場面の表現をスキットを通して練習する「Time for a Skit」を設け、「Project」で「ミニ英語新聞を作ろう」や「あなたの夢を語ろう」など、調べたことを発表する活動を設定する工夫がされている。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) セクションごとに、聞く活動の後に具体的な場面での話す練習を取り入れたり、「Word Box」を参考に書いたり話したりする活動を設定したりするなど、言語活動の充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、日常のよくある場面で既習の内容を活用する「You Can Do It!」を設け、「Go for It!」で、「職場体験を報告しよう」「私たちの町を紹介しよう」など、調べたことを表現する活動を設定する工夫がされている。</p>

2 地域の実態や課題を考慮した利便性の向上

〔観点2〕学習効果や使用上の利便性を高めるために、地域素材や身近な題材など、生徒にとって分かりやすく学びやすい工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 各单元において、導入的活動から対話を中心とした活動、読む活動、自己表現活動へと、段階的に学習活動のレベルをあげることで、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 单元の中で、「Rakugo in English」、映画「イルカと少年」など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、各单元末の「Activity」で单元のテーマに沿った重点的なリスニング活動ができる工夫がされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 各セクションにおいて、基本文を含む対話形式の「Basic Dialog」を設定して「聞く」、「話す」の活動を行い、单元末の「POWER-UP」で4技能の重点的な活動を行うなど、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 单元の中で、宮崎県の高千穂峡を紹介する題材や「Eigo Rakugo」など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、「POWER-UP」で重点的なリスニング活動や他技能と関連付けた言語活動ができる工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 各セクションにおいて、基本文を関連づけた「Activities」で学習活動を行い、单元末の「Review」で4技能別の活用を図る学習活動とまとめを行うことで、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 单元の中で、相撲部屋を訪問した話や「Manga, Anime, and Movies」など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、「Talking Time」や「Chapter Project」の冒頭で、基本文を中心としたリスニング活動ができる工夫がされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 各单元において、「GET」で基本文や重要語句等の学習活動を行い、「USE」で4技能別の活用を図る学習活動を行うなど、段階的に学習内容の習得を図ることで、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 单元の中で、「おすしはいかが」や「ロボットのある暮らし」など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、各单元末に「Let's Listen」を設定し、身近な生活場面を利用した重点的なリスニング活動ができる工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 各单元において、「Hop」での基礎的な学習活動、「Step」での読むことの学習活動、「Jump」での発展的な学習活動など、段階的に4技能を育成することで、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 单元の中で、沖縄の名所や歴史、マンガ家である手塚治虫氏の物語など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、「Listening Tips」で聞き取る「コツ」をつかみながら重点的なリスニング活動ができる工夫がされている。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 各セクションにおいて、「Try It!」での基本文や重要語句等の活動を設定し、単元末の「You Can Do It!」で発展的な学習活動を行うなど、段階的に4技能を育成することで、学習効果を高める工夫がされている。</p> <p>(2) 単元の中で、沖縄の歴史、音楽についての話や「Living with Robots」など、生徒が興味を持ちそうな題材が取り扱われている。</p> <p>(3) 聞いて理解する力を高めるために、「Your Coach」で聞き取る「コツ」をつかみながら重点的なリスニング活動ができる工夫がされている。</p>